



日土町筵田地区 お雛様街道

3月定例会等の概要

平成28年1月臨時会は、1月28日に開会・閉会し、報告3件、条例案1件、予算案2件、議員提出議案2件、その他1件、計9件が上程されました。

平成28年3月定例会は、2月29日に開会し、26日間の会期で3月25日に閉会しました。

この定例会において、報告1件、諮問1件、条例案21件、予算案25件、請願2件、議員提出議案1件、その他6件、計57件が上程されました。

その内、請願2件は不採択、その他の案件については、原案のとおり可決、決定等されました。

【3月定例会日程】

| 会議日 | 会議別 | 会議内容 |
|----------|-----|------------------|
| 2月29日(月) | 本会議 | 議案の上程 提案理由の説明 |
| 3月3日(木) | 本会議 | 一般質問(3名) |
| 4日(金) | 本会議 | 一般質問(2名) |
| 7日(月) | 本会議 | 議案に対する質疑 |
| | 委員会 | 総務委員会 |
| 8日(火) | 委員会 | 民生文教委員会 |
| 9日(水) | 委員会 | 産業建設委員会 |
| 10日(木) | 委員会 | 予算特別委員会 |
| 11日(金) | 委員会 | 予算特別委員会 |
| 14日(月) | 委員会 | 予算特別委員会 |
| 16日(水) | 委員会 | 予算特別委員会 |
| 24日(木) | 委員会 | 議会改革特別委員会 |
| 25日(金) | 本会議 | 委員長報告 討論、採決 |

※次回定例会は6月に開催の予定です。

市政をただす 一般質問



今定例会では、5人の議員が一般質問に立ち、市長はじめ関係理事者の考え方をたしました。

質問及び理事者答弁は質問者本人が要約したものです。

なお、掲載は質問順、一般質問の詳細につきましては、会議録に掲載しています。

| 一般質問者 | | | |
|-------|--------|----|-------|
| No | 質問者 | No | 質問者 |
| 1 | 遠藤 素子 | 4 | 河野 裕保 |
| 2 | 佐々木加代子 | 5 | 大山 政司 |
| 3 | 西山 一規 | | |

会議の詳しい内容を知るには

本会議の内容をそのまま記録した文書として会議録があります。

会議録は、議会事務局、市立図書館、中央公民館、中央公民館保内別館で、ご覧になることができます。また、市議会ホームページ上でもご覧になれます。



遠藤素子議員

質問事項

- 1 八幡浜市「合併10周年」の検証について
- 2 増えるコンビニと街づくりについて
- 3 マイナンバー制度について
- 4 原発の再稼働に関して

八幡浜市「合併10周年」の検証について

問 平成17年3月に合併して11年目が過ぎようとしている。合併10年の検証はなされたのか。

規制はできない。一つの時代の流れと言える存在ではないかと考えている。

マイナンバー制度について

答 県と市町が連携して合併の検証を行っている。当市の場合、厳しい財政下において、さまざまな財政の効率化によって、市立病院、八幡浜みなと、魚市場など地域活性化の核となる大型事業を行いながらも、必要な住民サービスを維持できている。課題としては中心部だけでなく合併市町全体でバランスよく発展させることが求められており、交通格差の解消、地域資源を活かした観光振興、バランスを考慮した公共施設の配置などの取り組みが求められている。

問 この制度についてよくわからないまま、マイナンバーの通知カードが送られてきた。説明書を読むと、「誰もが個人番号カードを作らなければならないかのような説明になっていた。このカードを作るか否かは、個人の自由であることを説明すべきだったのではないか。

答 このパンフは、国がつくったものである。市の広報では、「希望する方は、個人カードが作れること等」を載せてきた。

原発の再稼働について

問 大型店の進出によって、地域の小売店が次々と姿を消し、高齢者が買い物に不便を来すことになってしまった。最近では、市内にコンビニが次々と出現、営業時間の長さなどから便利だと重宝されている。しかし問題点もある。地域の人のつながりや、省エネには逆行しているのではないか。また、日常生活に不可欠な生鮮食料品が買えないことや、食の地産地消などの観点から、このままでいいのか。

問 3月1日の各新聞1面には、2月26日に再稼働したばかりの高浜原発4号機が緊急停止した記事が大きな見出しで取り上げられていた。九州電力の川内原発1号機でも、原子力規制委員会の審査が通っていないが、トラブルが起こっている。他にも、東京電力が事故から3日後にはメルトダウンの情報をわかっていながら公表しなかったという重大問題など、トラブルや不祥事が続出している問題をどのように捉えているか。

答 自治体においては、コンビニなどの小売店舗の出店に関する法的権限がなく、

答 伊方発電所においては、同様の事故が起らないよう、より入念に使用前検査などに臨むことは当然であると思う。



佐々木加代子議員

質問事項

- 1 ふるさと納税について
- 2 斎場で小規模な葬儀を行うことについて

ふるさと納税について

問 平成20年度より始まった初年度の寄附件数及び寄附金額は、14件・142万5千円であったが、8年目となる本年度の現在までの件数と金額を伺う。

答 本年1月末で、寄附件数2万5千394件、寄附金額3億891万9千909円となっている。

問 本年度急激な増額となった要因は。

答 昨年6月から民間ポータルサイトの「ふるさとチョイス」に情報を掲載し、クレジツト決済を開始。また、特産品贈呈を年1回から年何回でも寄附に応じた特産品を贈呈する方法に変更。さらに、特産品を29品目から85品目にふやしたことや、国の制度改正により、住民税所得割額のおよそ1割程度だった控除額が2割程度と拡大され、確定申告が不要な給与所得者等に限り、確定申告が不要となるワンストップ特例制度が導入されたことなどが、増加要因と考えている。

問 寄附をされる方のほとんどがインターネットによる申し込みであるとのことだが、市のホームページ上で、ふるさと納税という文字が出てくるのは、左端の5ミリほどの文字のみ。ページを開けばすぐに視線を引きつける、目立つタグを置くなどの改善をすべきだと思うがどうか。

答 当市のホームページにおけるふるさと

納税の表示は、ほかの項目に比べて特に目立つように配慮されたものではない。全国的にもふるさと納税が注目されていることから判断すれば、閲覧者もふえることが予想されるため、目立つようなデザイン性があるバナーに変更をしたい。

問 ふるさと納税は、少しの工夫、着眼点の違いで、これからも寄附金額が伸びていくと思われる。寄附金額が伸びていけば、人口減対策や子育て支援など、若い世代の定住化に向けた八幡浜市独自の施策にも取り組むことができるようになる。ふるさと納税を専門に扱う部署を創設するということも考えてはどうか。

答 今後はよりよい八幡浜市の特産品が出せればよいなと思っている。また、来年度には、ふるさと納税推進室を新設して積極的に取り組んでいきたい。

斎場で小規模な葬儀を行うことについて

問 近年の葬儀の形態の変化にとまいない、なるべく費用のかからない周辺市町のような斎場での小規模な葬儀を行えるようにしてほしいと思うがどうか。

答 少人数で小規模な葬儀が行える多目的ホールという部屋が斎場にはある。今後、要望があれば検討していきたい。



西山一規議員

質問事項

- 1 八幡浜市の情報発信について
- 2 公園・広場のありかたについて

八幡浜市の情報発信について

問 移住者への情報発信はどのように取り組んでいるか。

答 えひめ移住交流促進協議会に参画し、継続的な情報発信をしており、市のホームページ、ニッポン移住交流ナビ、全国移住ナビも活用している。

問 総務省の全国移住ナビへの取り組みは？

答 登録しているがまだ充分活用できていない。

問 全国移住ナビは周辺市の情報も少なく、今が活用のチャンスと思うし、地域おこし協力隊やみかんの里アルバイターからの情報発信のしくみもあって良いのではないかと。空き家の活用についてはどうか。

答 現在、県の空き家バンクに登録できるものを調査・整理しており、市のほうでもPRしていきたい。

問 近年、動画の情報発信が非常に簡単にできるが、市の取り組みはどうか。

答 現在、市ホームページでは動画の情報発信は行っていない。まずは動画サイトを立ち上げ、市の魅力をアピールできる動画を発信できるようにしたい。

問 住民ディレクター養成講座も開催されており、市民が動画制作し、市が集約して有効活用するのが良いと思うがどのように考えているか。

答 本講座により官民協働の情報発信基盤

が整備されつつあると考える。今後は動画情報発信の仕組みを整備するなどしたい。

要望 古いビデオテープなどは市の視聴覚ライブラリーでデジタル動画に変換できる。市民撮影の昔の映像を見れる場があればコンテンツの広がりが出るので取り組んでほしい。

公園・広場のありかたについて

問 公園や広場の遊具が最近撤去されているが、現状はどうか。

答 定期点検を行い基準をクリアできなかった遊具は使用禁止とし、修繕できないものは順次撤去している。

問 少子高齢化のため理解できるが、移住促進で子どもが増えることも考えられる。今後の整備の考えはどうか。

答 整備中の王子の森公園が完成した後、北浜公園も見直し整備をしたい。児童遊園は地域ニーズ等総合的判断で行っていく。

問 ベンチやテーブル等、低価格な整備や特徴を特化した公園があつていいのではないか。

答 利用者の立場にたつてベンチ・テーブルもその公園に合ったものを配置していき、幅広い層が利用できるよう総合的に判断し検討したい。



河野裕保議員

質問事項

- 1 原子力発電所再稼働の必要性について
- 2 原発隣接自治体の今後の在り方等について

原子力発電所再稼働の必要性について
問 原子力エネルギーの信頼性回復、及び伊方原発3号機再稼働による安全対策等の働きかけは。

答 福島第一発電所では、完璧に安全管理されているはずの原子力施設でメルトダウンという最悪の事態が発生した。これにより、国の原子力安全委員会、原子力安全保安院、各原子力発電事業者、原子力発電に関係する多くの機関が国民から信頼を失った。信頼性回復と安全性の確保のため新たな組織として、原子力規制委員会、原子力規制庁が2012年9月19日発足した。原子力規制機関が国民の側に立って機能しつつ、各発電事業者においても危機意識をもって仕事に取り組むことが何より大切だ。同時に全面的な情報公開と透明性を継続することにある。本市は、県と様々な立場で協議しつつ、立ち入り検査に同行するなど、発電所の運転に必要な安全確保のシステム等が保たれているか確認行動を取って行く。

問 エネルギーの安全保障、経済効率性の向上、環境適合性等の観点からすれば原発は欠かせないと考えるが。

答 国のエネルギー政策を司る、経済産業省資源エネルギー庁によるエネルギー基本計画で、原子力発電は低酸素の純国産エネルギー源として優れた安定供給性と効率性を有しており、運転コストが低兼で変動も少なく、経済効率性の見地からも重要なべ

スロード電源である。さらに、運転時に温室効果ガスの排出もないとされており、地球温暖化防止の観点からも推進すべき側面があると考ええる。

問 脱原発は目下のところ非現実的であり、再生可能エネルギーに偏るのは危険であると考ええるが。

答 国のエネルギー基本計画、及び当市の知事への回答にも載せているが、将来的には脱原発への方向を示すべきだと考える。エネルギー自給率の低いわが国においては、現状の経済活動や産業を継続するに当たってはエネルギーの安定供給が必要不可欠である。様々なエネルギーを組み合わせること

である。再生可能エネルギーは環境負荷が低いエネルギーであるが、太陽光、風力などの発電方法にはまだまだ大きな制約があり、原子力発電の代替えとするのは困難である。今後、蓄電技術の開発、技術革新に期待している。

問 原発から出る廃棄物の最終処分等についてどう進行しているのか。

答 現在、国内の原子炉は廃棄が決定したもの、新規制基準への適合が認められたもの、現在申請、審査中など様々である。最終処分は、経産省、資源エネルギー庁、NUMOが、専門家を交えて検討しており、国が前面に立って国民に説明していく方針であり、科学的知見に基づいた候補地の選定作業に当たっている。



大山政司議員

質問事項

- 1 市の当初予算と地方創生について
- 2 動物愛護管理の推進について
- 3 伊方原子力発電所に関する市長の政治姿勢について

市の当初予算と地方創生について

問 平成28年度当初予算において新たな地方創生にかかわる特徴的な施策、予算措置の概要を明らかにされたい。さらに、今年度地方創生、補助率百パーセントで、交付金を申請した事業名を明らかにされたい。

答 平成28年度当初予算計上事業は、地域救急医療学講座設置事業、えひめいやしの南予博、愛媛西伊予・大分中部地域間交流連携など広域観光に関する事業、歯科外来分の子ども医療費無料化等を計上している。また、補助率百パーセント交付金を活用し行う事業は、縁結びサポート及び子育て応援ポストを設置する八幡浜市まち・ひと・しごと創生戦略、結婚、子育て等支援事業である。

問 ある市民から、21年間慈しんで一緒に暮らしてきた猫が家に帰らず探したが見つからず、車に跳ねられたとの話を耳にして、生活環境課に問い合わせると「いいがあつたので処分した」との返事であった。首輪を付けていたのだから飼い猫である判断が出来たはずであり、「人と動物が調和し、共生する地域づくり」について、行政として適切な対応が求められている。そこで、動物愛護管理について市の今日までの具体的な施策を明らかにされたい。

答 動物の死体は、廃棄物として取り扱い、

焼却処分と定めている。ただし首輪がついている犬・猫については1日か2日保管している。今後、焼却処分する際は首輪については外し、1カ月程度保管して置くこと

としたい。また、迷い犬・猫の連絡があった場合は市のホームページに掲載することで飼い主を見つけやすくなり、それが無理でも新しい飼い主ができることで、殺処分の数を減らすことにつながっている。

伊方原子力発電所に関する市長の政治姿勢について

問 伊方原発3号機再稼働了承について平成25年7月8日に県から八幡浜市に照会が来たものが、なぜ平成27年9月2日に現実的に回答をされたのか。またその際、要請事項として9項目要請されたが、その中に伊方原発から排出される核燃料廃棄物の処理に関する要請をされなかった理由は。

答 市議会が継続審議されてきた再稼働反対の請願が平成27年6月議会での不採択、原子力規制委員会が原子炉設置変更を許可、さらに伊方原子力発電所環境安全管理委員会

で結論が出たこと等により、9月2日に市の方向性を示し、県に回答した。また、知事への回答の9項目の要請事項には、核廃棄物の取り扱いに係る事項は、盛り込んでいない。核廃棄物の処理は、伊方原発だけの問題ではなく、国の方向が出た段階で、市として意見を述べたい。

民生文教委員会報告

佐々木 加代子 委員長

八幡浜市乳幼児及び児童医療費助成条例の一部を改正する条例の制定について

理事者説明

現在、当市では乳幼児及び児童の医療費助成として就学前のお子さんは通院と入院分を、小中学生は入院分について助成し、無料化を実施している。

今回の条例改正は、小中学生の時期が生涯を通じた歯と口の健康づくりの基盤を形成する重要な時期であり、歯科治療を促進することで子どもの保健の向上と福祉の増進を図り、また、子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、小中学生について助成対象を拡充し、新たに歯科外来診療を追加するものである。

問 小中学生の医療費助成に関して、県内他市町の取り組み状況はどうなっているか。

答 平成27年度現在の県内他市町における医療費無料化の状況は、小中学生対象が1市5町、小学生のみを1町、小学校1年の誕生日前までを1町が実施中である。

また、歯科外来無料化については、小中学生対象が2市、小学生のみを1市、小学校3年生までを1市が実施しており、平成28年度にはさらに対象を拡充する予定であるとの情報を得ている。

問 この時期に改正することになったのは、市民からの要望によるものなのか、それとも他に何か理由があるのか。

答 直接要望によるものではないが、この件は過去から段階的に拡充範囲を広げてきている。県内の自治体の取り組み状況も踏まえ、当市としても子育て支援の重要な施策の一つとして、平成28年10月から外来歯科診療の無料化を実施するものである。



成人保健事業費について

問 糖尿病関連の事業について、様々な取り組みをしてきたと思うが、糖尿病予防に関するその取り組み内容と、また今回新規で計上されている保健事業費金（腎症予防支援）の具体的な内容について

答 糖尿病関連の事業は平成24年度から行っており、当初は市立病院の医師と連携しながら糖尿病サポーターの養成を行った。看護師さんや訪問ヘルパーさんに糖尿病に関する知識を深めていただき、医師の指示が患者さんに的確に反映できることを目指したものであった。そして今回の補正は、昨今、糖尿病数値から、人工透析になるまでの年数を分析できるようになったことにより、その方々に適切な薬品を使っていたら、透析にならないよう、また透析になるまでの期間を遅らせるよう栄養士等による訪問指導・助言を行いたいと考えている。

八幡浜市デイサービスセンター条例を廃止する条例の制定について

理事者説明

湯島デイサービスセンターは、平成18年度から、八幡浜市社会福祉協議会を指定管理者として指定し、施設の運営を継続してきたが、昨年11月に、八幡浜市社会福祉協議会よりデイサービス事業の継続が困難であるため、指定管理の協定を解消したい旨の申し出があった。これを受け、今後のデイサービス事業の在り方について検討したところ、施設数については、介護保険制度発足時から増加しており、また、施設の定員に対する稼働率も市全体で6割程度であるため、サービスの供給量も一定以上のレベルに達しており、今後も市がデイサービス施設を運営する必要性がないと判断できたため、廃止するものである。

問 湯島のデイサービスセンターが廃止された場合、その地域にお住まいで、そこを利用されていた方はどう考えているのか。

また、その方々が今後、民間のデイサービスを利用することになった場合の費用面等の違いはあるのか。

答 最近、湯島の入口に「きずな湯島」ができたことにより、その地域の方々の利便性は確保できる見通しが立っている。

また、費用面に関しては、どの施設も基本的には介護保険制度の中で運営しているため、限度額が決まっており、サービスに関しても、その施設毎に多少の特徴はあるかもしれないが、基本的に同じ基準のサービスを受けることができる。

問 この施設が廃止となった場合、建物の今後の利用方法についてはどのように考えているのか。

答 この建物については、エレベータ・エアコンを含め老朽化が著しく、将来に渡って使用するためには相当な設備投資が必要になってくるため、施設の利用は考えていない。そのことを理解された上で賃貸等の申し込みをされる方がいれば検討していきたい。

要望 有効活用するためにも、間口を広げて、賃貸・売却等積極的に募集してほしい。



産業建設委員会報告

平 家 恭 治 委員長

八幡浜市簡易水道条例の一部を改正する条例の制定について

問 平成26年度から整備を開始し、平成28年度末までに簡易水道の10地区を上水道へ統合することだが、現在の状況はどうなっているのか。

答 保内地区の6地区が今年度末で完了する予定であり、平成28年度末までに既存施設のまま会計を一つにするソフト統合を日土東・北と谷の2地区で行い、上水道を拡張し管で結ぶハード統合を中津川と田浪の2地区で行う。これら計10地区で統合整備事業は終了となる。

問 年々人口も給水量も減少しており簡易水道の管理も大変になってくると思うが、10地区以外の梶谷岡や中当等については、今後整備する予定はないのか。

答 整備を行うには地元の総意が肝心で、今回の中津川についても当初の計画には入っていなかったが、高齢化により管理が出来ないとの地元からの強い要望で急ぎよ実施することとなった。10地区以外については、現在は現状維持で考えているが、今後、国から新しい何らかの方針が示された場合には、地元の総意の下で前向きに対応していきたい。

八幡浜市消費生活センター設置条例の制定について

問 消費生活センターを設置することにより、国や県の補助金はあるのか。また、相

談内容にはオレオレ詐欺などの対応が難しいものもあると思うが、警察との連携はとれているのか。さらに市民全体、特に高齢者に対する周知方法等についての考えは。

答 この設置条例に伴う直接の補助金はないが、職員が研修に行く際の旅費や負担金、啓発グッズ等の消耗品、一部人件費に対して、消費者行政活性化事業費補助金という形で平成28年度予算では国の基金により年間73万6千円交付される。

法律的に被害があったという相談内容については、八幡浜警察署にも相談しており、場合によっては弁護士などにも相談するよう専門機関を紹介している。

周知の方法については、広報や啓発グッズを活用し、高齢者に対しては地域包括支援センターにもお願いするなど徹底したい。また、消費者教育の推進についての国の方針もあるため、小中学校や各関係機関とも連絡を取りながら周知に努めていきたい。

「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める請願書について

意見 審査においては、現在は非正規雇用の割合が15歳から19歳で63.5パーセント、20歳から24歳でも34パーセントと非常に高くなっている。また、八幡浜市の場合ほとんどが中小企業で、政府が支援して低賃金を改善しないと人口減にも歯止めがかからない。大企業には3百兆を超える投資も出来ないお金が貯まっており、それを国民全体に使わせるためにも是非この請願については採択し、意見書を提出してほしい。

意見 日土での農作業等の時給は大体千円で、機械を使用する場合の時給は千二百円から千三百円である。私も千円で人を雇って仕事をしており、この請願についてはなかなか理解し難い点がある。よって、この請願を採択することには反対である。

採決の結果、賛成2、反対3で不採択とすることに決定した。

磯根資源研究施設整備事業について

理事者説明 冬場の悪天候等のため1カ月程度工事に遅れが生じたことにより、年度内の竣工が見込めなくなったことから1億7千893万8千円を繰り越すもので、4月末には竣工する予定である。現在、八幡浜漁協ではクロアワビの親貝を育成しながら、春採卵の準備を進めている。

問 大島ではアワビ以外にも過去から花や牡蠣、ナマコなどいろいろな事業に取り組んできたが、いずれも成功していない。アワビの養殖についても少し心配しているが、今後の見通しはどうなっているか。

答 アワビ養殖の取り組みについては、平成24年度から2カ年間、離島漁業再生交付金事業で養殖試験に取り組んでおり、平成24年度には約4千個、平成25年度には約5千個を養殖し出荷した。現在整備している施設が完成すれば、八幡浜漁協が運営を行ない、養殖販売も含めて年間30万個程度の生産を計画している。

問 養殖販売より種苗販売の方が利益率が高いと思うが、年間30万個の内、養殖販売と種苗販売をどの程度と考えているのか。また、大島の住民、特に若者が少しでも多くアワビの養殖で生活が出来ること、大

島の活性化に繋がると思うがどう考えるか。

答 ご指摘のとおり種苗販売の方が利益率が高いため、30万個の内、種苗販売が28万個で、残りの2万個乃至3万個は自家養殖をする計画となっている。種苗生産は卵を採ってみないと最終的に残る量は分からないが、アワビは比較的他の物より卵を採りやすいため、計画どおりいくものと考えている。また、自家養殖については、間引きながら成長させていくが、間引いた物はシーフードセンターで加工品にする等の考えもあり、市としてもアワビが核となって大島の産業に定着できるようにしっかり支援していきたい。



2016/03/30

予算特別委員会報告

井上 和浩 委員長

集落支援員報償金について

問 集落支援員とはどういった活動をしているのか、また、支援員が活動をされている地区はどこか。

答 集落支援員は、市が支援員として委嘱をして、市あるいは地元住民との連携を図りながら、その集落の地域の活性化を支援している。現在、日土東地区に1名を配置しているが、グリーンツーリズムの取組み、雛祭りイベント等の企画支援を行っている。

問 既に日土東地区では地域おこし協力隊2名が活動をされているのに、更に集落支援員も必要であるのか。

答 集落支援員は、八幡浜市としては平成22年10月から市内の限界集落6集落の中から日土東地区をモデル地区に選定した経緯がある。日土東地区は地元の強みの掘り起し、様々なイベントの開催により、積極的に地元の活性化に向けての活動を行っている。今後は地域おこし協力隊と一緒に情報交換をしながら活動することにより、更に日土東の活性化につながるものと考えている。

意見 市内の他の地域でも、人口減、高齢化が進み、疲弊している地区は非常にたくさん存在している。このような状況で特定の地域だけに集落支援員、地域おこし協力隊の両方を置くということは理解し難い。これらの事業を1つに統合すべきではないか。



磯根資源養殖施設用地整備工事費について

理事者説明 工事請負費8百58万6千円は、県外の民間企業が本年2月、大島に「株式会社・大島海藻養殖研究所」を設立し、スジ青のりの陸上養殖事業に着手することになったことに伴い、施設設置場所の用地整備を行うための経費である。

問 どのような方が大島に現地法人を設立したのか。また、地元にとってのメリットや販路等についてはどう考えているのか。

答 大島に現地法人を設立した親会社は、岡山市にある青のり、アオサの卸売会社である。

現在の青のりの国内生産量は乾燥品で約3百トン、そのほとんどが天然のものであり、高齢化に伴い天然青のり生産者の廃業が増

え、この岡山市の卸売会社も製品の確保に非常に苦慮していた。そこで、昨年、試験的に大島のスジ青のりの製品をこの会社に出荷したところ、非常に高評価を頂き、自らが大島に現地法人を設立し養殖事業に着手したいとの要望があり、当市にとっても非常に良い話だったため、今回、用地を整備することに決定した。

今後、この事業が軌道に乗れば、大島の方を3名程度雇用し養殖事業を行い、出来た製品は、卸売業者である親会社の販路に乗せ販売することになっている。

問 養殖用水槽などの整備も必要だと思うが、これらの整備はその会社が行うのか。

答 施設設置場所の用地整備は市が行うが、その他の設備投資についてはこの会社が行うことになっている。設備投資については、愛媛県の産業振興財団等に補助事業があるため、それを活用されると思われる。

日常生活用具給付等事業扶助費について

問 日常生活用具給付等事業とのことであるが、どういった方々を対象としているのか。また具体的にどういったものの給付又は貸与を行うものであるのか。

答 日常生活をより円滑に行っていたために、その方に応じた用具を給付・貸与することを目的とした事業であるため、その用具があることにより通常の生活が行える可能性のある方を対象としている。

また、その用具に関しては、特殊寝台、特殊な便器、透析液の加温器など、障害の特性やその程度によって変わってくるが、排泄機能障害者に対するストマ装具や紙おむつが9割程度を占めている。

問 この事業は、申請主義をとっているとと思うが、この事業を知らない方への周知についてはどのように考えているのか。

答 基本的にこの日常生活用具は、身体障害のある方を対象に給付・貸与しているため、身体障害者手帳を申請される際に、窓口等で説明している。

問 病院に入院された方についても、病院からこの事業の申請を促してもらえないような連携ができれば、患者さんやご家族の方にも喜ばれると思うが、どうか。

答 病院との連携は大切であるが、基本的には病院にかかる前に相談支援事業所に相談される。そこから当課に連絡が入った場合には、その事業所の相談支援相談員と当事者・ご家族の方、そして行政の3者で相談し、身体障害者手帳や日常生活用具の利用を促している。



総務委員会報告

樋田 都 委員長

「八幡浜市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について」、「八幡浜市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について」、「八幡浜市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例の制定について」の3議案に対して、

問 特別職の報酬、議員報酬及び職員給与についての県下及び四国内等での順位を示した資料をご提示いただいたが、今回の条例改正により、この順位は変動するのか。

答 今回の条例改正は、人事院勧告に基づいて改正するものであり、他の自治体でも人事院勧告に準じて引き上げが行なわれると判断しており、順位は変わらない見込みである。

問 これまで人事院勧告を順守して条例改正を行ってきた経緯があるが、人事院勧告に法的拘束力があるのか。また、順守しない場合に市に対して制裁はあるのか。また、順守しない場合に職員以外で影響を受ける市内の事業所はあるのか。

答 人事院勧告には法的拘束力はなく、順守しない場合の制裁もない。また、市内の事業所においては、従業員の給与を市職員に準じている事業所があれば影響が生じるのではない。

問 先ほどの資料によると、職員の平均給与等の順位が非常に上位であると感じる。これが高いか低いかは感覚の違いはあるだろうかこの結果をどのように考えているか。

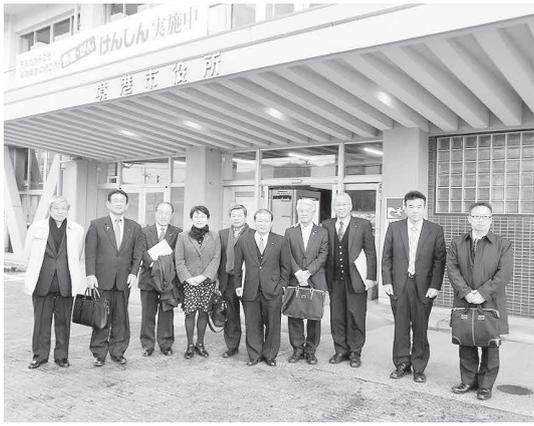
答 八幡浜市は他に比べて職員の平均年齢が若干高いこと、また、市町村合併は1市1町の合併であり、他の自治体のように給料の低い町村との合併による平均給料の下がり幅が比較的少なかったことも考えられる。また、給与の中には給料の他に職員手当が含まれており、提示した資料は平成25年4月の1か月分だけが調査対象となっているが、25年4月は「みなっと」のオープン、高度衛生管理型魚市場のオープン、市長選挙の実施、さくらまつり、飛行大会等のイベントが多く重なった時であり、時間外手当が膨大であったことが要因であり、この月だけでは判断できない。

意見 特別職以下、職員、議員の給与等については、市民の感覚からみると非常に特化した事項であり、人事院勧告を実施することが今までは当然とされてきたが、今回は人事院勧告の実施を小休止して遠慮することも必要である。

意見 人事院勧告については、人事院勧告により給与が下がる場合も実施をしている。今回は民間企業の給与水準を基に多少のアップを勧告されており、人事院の公平な目を尊重し、人事院の勧告には従前どおり従うべきではない。

意見 非常に市民の生活も困窮してきており、不況が継続しているのは認識している。ただ、議員の報酬については県下でも四国でもあるいは全国の同規模クラスの自治体と比較しても下位クラスである。そこで、議案第11号については、議案第9号、議案第10号と同様に反対であるが、議員に政務活動費の支給を検討すべきではないかということ、併せて付言する。

行政視察報告

| 委員会名 | 議会運営委員会 | 産業建設委員会 |
|------|---|--|
| 視察日 | 2月16日～2月17日 | 1月18日～1月20日 |
| 視察先 | ○鳥取県境港市 ・会派制について ・市議会基本条例の活用について | ○千葉県館山市 ・「じのもんが一番ダッペエ」地産地消推進事業について ・たてやま“渚の駅”を活用した地域振興の取り組みについて ○千葉県佐倉市 ・景観まちづくりについて |
| 視察風景 |  |  |
| | 境港市 | 佐倉市 |

1月臨時会 審議結果

| 議案番号 | 件名(摘要) | 議決の結果 |
|-----------|--|-------|
| 報告第1号 | 専決処分の報告について(訴えの提起について) | 報告 |
| 報告第2号 | 専決処分の報告について(市立八幡浜総合病院診療費等の支払請求に係る和解について) | 報告 |
| 報告第3号 | 専決処分の報告について(市立八幡浜総合病院診療費の支払請求に係る和解について) | 報告 |
| 議案第1号 | 四国電力伊方原子力発電所の再稼働の賛否を問う八幡浜住民投票条例の制定について | 原案否決 |
| 議案第2号 | 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について | 原案可決 |
| 議案第3号 | 平成27年度八幡浜市一般会計補正予算(第5号) | 原案可決 |
| 議案第4号 | 平成27年度八幡浜市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号) | 原案可決 |
| 議員提出議案第1号 | 電源立地地域対策交付金の内給付金交付助成事業に係る交付限度額算定対象地域の見直しを求める意見書の提出について | 原案可決 |
| 議員提出議案第2号 | 地域高規格道路「大洲・八幡浜自動車道」の早期完成及び南予の高速道路の無料化を求める意見書の提出について | 原案可決 |

3月定例会 審議結果

| 議案番号 | 件名(摘要) | 議決の結果 |
|--------|---|----------|
| 報告第4号 | 専決処分の報告について(市立八幡浜総合病院診療費等の支払請求に係る和解について) | 報告 |
| 諮問第1号 | 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて | 異議のない旨答申 |
| 議案第5号 | 八幡浜市過疎地域自立促進計画の策定について | 原案可決 |
| 議案第6号 | 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について | 原案可決 |
| 議案第7号 | 八幡浜市行政不服審査条例の制定について | 原案可決 |
| 議案第8号 | 行政不服審査法の全部改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について | 原案可決 |
| 議案第9号 | 八幡浜市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 原案可決 |
| 議案第10号 | 八幡浜市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 原案可決 |
| 議案第11号 | 八幡浜市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 原案可決 |
| 議案第12号 | 八幡浜市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 原案可決 |
| 議案第13号 | 八幡浜市単純な労務に雇用される職員の給与の種類及び基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について | 原案可決 |
| 議案第14号 | 八幡浜市職員の分限に関する手続及び効果等に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 原案可決 |
| 議案第15号 | 八幡浜市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 原案可決 |
| 議案第16号 | 八幡浜市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 原案可決 |
| 議案第17号 | 八幡浜市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 原案可決 |
| 議案第18号 | 八幡浜市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について | 原案可決 |
| 議案第19号 | 八幡浜市消防団条例の一部を改正する条例の制定について | 原案可決 |
| 議案第20号 | 八幡浜市市税条例等の一部を改正する条例の制定について | 原案可決 |
| 議案第21号 | 八幡浜市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について | 原案可決 |
| 議案第22号 | 八幡浜市乳幼児及び児童医療費助成条例の一部を改正する条例の制定について | 原案可決 |
| 議案第23号 | 八幡浜市デイサービスセンター条例を廃止する条例の制定について | 原案可決 |
| 議案第24号 | 八幡浜市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について | 原案可決 |
| 議案第25号 | 八幡浜市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について | 原案可決 |

| | | |
|-----------|---|------|
| 議案第26号 | 八幡浜市簡易水道条例の一部を改正する条例の制定について | 原案可決 |
| 議案第27号 | 八幡浜市消費生活センター設置条例の制定について | 原案可決 |
| 議案第28号 | 平成27年度八幡浜市一般会計補正予算(第6号) | 原案可決 |
| 議案第29号 | 平成27年度八幡浜市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号) | 原案可決 |
| 議案第30号 | 平成27年度八幡浜市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号) | 原案可決 |
| 議案第31号 | 平成27年度八幡浜市介護保険特別会計補正予算(第4号) | 原案可決 |
| 議案第32号 | 平成27年度八幡浜市介護サービス事業特別会計補正予算(第2号) | 原案可決 |
| 議案第33号 | 平成27年度八幡浜市簡易水道事業特別会計補正予算(第3号) | 原案可決 |
| 議案第34号 | 平成27年度八幡浜市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号) | 原案可決 |
| 議案第35号 | 平成27年度八幡浜市戸別合併処理浄化槽整備事業特別会計補正予算(第2号) | 原案可決 |
| 議案第36号 | 平成27年度八幡浜市水道事業会計補正予算(第2号) | 原案可決 |
| 議案第37号 | 平成27年度市立八幡浜総合病院事業会計補正予算(第2号) | 原案可決 |
| 議案第38号 | 平成28年度八幡浜市一般会計予算 | 原案可決 |
| 議案第39号 | 平成28年度八幡浜市国民健康保険事業特別会計予算 | 原案可決 |
| 議案第40号 | 平成28年度八幡浜市後期高齢者医療特別会計予算 | 原案可決 |
| 議案第41号 | 平成28年度八幡浜市介護保険特別会計予算 | 原案可決 |
| 議案第42号 | 平成28年度八幡浜市介護サービス事業特別会計予算 | 原案可決 |
| 議案第43号 | 平成28年度八幡浜市日土財産区特別会計予算 | 原案可決 |
| 議案第44号 | 平成28年度八幡浜市駐車場事業特別会計予算 | 原案可決 |
| 議案第45号 | 平成28年度八幡浜市簡易水道事業特別会計予算 | 原案可決 |
| 議案第46号 | 平成28年度八幡浜市公共下水道事業特別会計予算 | 原案可決 |
| 議案第47号 | 平成28年度八幡浜市戸別合併処理浄化槽整備事業特別会計予算 | 原案可決 |
| 議案第48号 | 平成28年度八幡浜市小規模下水道事業特別会計予算 | 原案可決 |
| 議案第49号 | 平成28年度八幡浜市水産物地方卸売市場事業特別会計予算 | 原案可決 |
| 議案第50号 | 平成28年度八幡浜市港湾整備事業特別会計予算 | 原案可決 |
| 議案第51号 | 平成28年度八幡浜市水道事業会計予算 | 原案可決 |
| 議案第52号 | 平成28年度市立八幡浜総合病院事業会計予算 | 原案可決 |
| 議長発議 | 予算特別委員会設置の件 | 原案可決 |
| | 予算特別委員会委員の選任 | 議長指名 |
| | 委員長 井上和浩 副委員長 西山一規 委員 佐々木加代子、竹内秀明、岩淵治樹、平家恭治、河野裕保、石崎久次、樋田 都 新宮康史、上田浩志、遠藤素子、宮本明裕、山本儀夫、大山政司、萩森良房 | |
| 請願第33号 | 「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める請願書 | 不採択 |
| 請願第34号 | 公契約条例の制定による適正賃金・労働条件の確保と地域経済の振興を求める請願 | 不採択 |
| 議員提出議案第3号 | 無電柱化の推進に関する法整備を求める意見書の提出について | 原案可決 |
| | 所管事務調査について | 原案可決 |
| | 議員の派遣について | 原案可決 |

各議員の議案に対する賛否の状況

賛否の分かれた案件を記載しています。そのほかについては全員賛成で可決されました。

1 月 臨 時 会

| 議 席 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | |
|-------------|-------|------|--------|------|------|------|------|------|-----|------|------|--------|------|------|------|------|------|---|
| 氏 名 議案番号 | 議案の可否 | 西山一規 | 佐々木加代子 | 竹内秀明 | 岩淵治樹 | 平家恭治 | 河野裕保 | 石崎久次 | 樋田都 | 新宮康史 | 上田浩志 | 井上和浩 | 遠藤素子 | 宮本明裕 | 山本儀夫 | 大山政司 | 萩森良房 | |
| | 議案第1号 | 否 | × | × | × | ○ | × | × | ○ | ○ | × | 議 長 | × | ○ | × | ○ | ○ | × |
| 議員提出議案第1号 | 可 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | × | ○ | ○ | × | ○ |
| 議員提出議案第2号 | 可 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | | ○ | × | ○ | × | × | ○ |

3 月 定 例 会

| 議 席 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | |
|-------------|-------|------|--------|------|------|------|------|------|-----|------|------|--------|------|------|------|------|------|---|
| 氏 名 議案番号 | 議案の可否 | 西山一規 | 佐々木加代子 | 竹内秀明 | 岩淵治樹 | 平家恭治 | 河野裕保 | 石崎久次 | 樋田都 | 新宮康史 | 上田浩志 | 井上和浩 | 遠藤素子 | 宮本明裕 | 山本儀夫 | 大山政司 | 萩森良房 | |
| | 議案第9号 | 可 | × | ○ | ○ | × | ○ | ○ | × | × | ○ | 議 長 | ○ | × | ○ | × | × | ○ |
| 議案第10号 | 可 | × | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ |
| 議案第11号 | 可 | × | ○ | ○ | × | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | | ○ | × | ○ | × | × | ○ |
| 議案第28号 | 可 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | × | ○ | × | ○ | ○ |
| 議案第38号 | 可 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 請願第33号 | 否 | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | | × | ○ | × | × | ○ | × |
| 請願第34号 | 否 | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | | × | ○ | × | × | × | × |
| 議員提出議案第3号 | 可 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

[○：賛成 ×：反対 -：退席 上田浩志議長は採決に入っていません]

諸 般 の 報 告

(H 27. 12. 18 ~ H 28. 2 . 28)

【委員会活動状況】

| | |
|--------------------|-------------------------|
| 12 月 18 日 | 議会改革特別委員会 |
| 1 月 5 日 | 議会だより編集委員会 |
| 1 月 18 日 ～ 20 日 | 産業建設委員会行政視察（千葉県館山市、佐倉市） |
| 1 月 22 日 | 議会運営委員会 |
| 2 月 16 日 ～ 17 日 | 議会運営委員会行政視察（鳥取県境港市） |
| 2 月 22 日 | 議会運営委員会 |

【庶務関係事項】

| 月 日 | 行 事 等 | 出席者 |
|------------|-------------------------------|------|
| 12月21日 | 八幡浜市乗合タクシー出発式 | 議長 |
| ” | 八幡浜地区施設事務組合議会定例会 | 議長ほか |
| 12月27日 | シクロクロスやわたはま2015開会式 | 議長ほか |
| 12月28日～27日 | 八幡浜市消防団年末警戒巡視 | 議長ほか |
| 1月3日 | 八幡浜市成人式 | 議長ほか |
| 1月4日 | 八幡浜青年会議所新年祝賀会 | 議長ほか |
| 1月5日 | 新春消防査閲式 | 議長 |
| 1月8日 | 南予市議会議長会会計監査 | 議長 |
| 1月16日 | 「つなげよう、支えよう、森里川海」ミニフォーラムin八幡浜 | 議長 |
| 1月19日 | 伊予市議会議員2名が行政視察のため来訪 | 副議長 |
| 1月23日 | 八幡浜市社会福祉大会 | 議長ほか |
| 1月24日 | 八幡浜市文化協会合併10周年記念講演会 | 議長 |
| 1月29日 | 第62回南予市議会議長会定期総会（大洲市） | 正副議長 |
| 1月31日 | 第11回市民健康マラソン・八幡浜駅伝カーニバル | 議長ほか |
| 2月3日～4日 | 全国広域連携市議会協議会総会（東京都） | 議長 |
| 2月5日 | 兵庫県西脇市議会議員3名が行政視察のため来訪 | 議長 |
| 2月6日 | 賀詞交歓会（宇和島市） | 議長 |
| 2月12日～13日 | 全国市議会議長会産業経済委員会（東京都） | 議長 |
| 2月13日 | 第38回保内芸能のつどい | 議長 |
| ” | 日土ふるさと祭り | 議長 |
| 2月15日 | 八幡浜市消防団大島分団夜警 | 議長 |
| 2月19日 | 八幡浜市二宮忠八翁顕彰協議会 | 議長 |
| 2月20日 | 八幡浜市人権・同和教育研究大会 | 議長ほか |
| 2月23日 | 南予水道企業団議会定例会（宇和島市） | 議長ほか |
| 2月25日 | 京都府舞鶴市議会議員10名が行政視察のため来訪 | 副議長 |



編集後記

1月半ば、トイレ休憩でグラナダのカフェに入った。「アイスマン」だ。叫びに近いボイスだったのだろう、客の視線が私に向い一瞬たじろいだ。カウンター横に槍を手にして上半身裸で立っていたからだ。遺伝学的解析に基づく等身大のカラーの復元パネルである。リアルさに息を飲んだ。「アイスマン」は、1991年9月19日、イタリア北部チロル地方の標高3千メートルを超える高山地帯の氷河から、ドイツ人夫妻が、完全な凍結ミイラを偶然発見したのだ。後に、5300年前の成人男性だと分かった。彼は胃潰瘍や胃がんを引き起こす「ヘリコバクター・ピロリ菌」に感染しており、ピロリ菌をゲノム解析した結果、系統はアジア起源であることまで判明している。悪ガキの頃、悪戯をしてはお叱りを受けた近所の天ぷら売りの太郎おじさんに背丈風貌がそっくりで、妙に親近感を覚えたのだった。「アイスマン」の年齢は？店を出ると、シエラネバダの銀嶺が薄い桃色に染まっていた。

河野裕保

《議会だより編集委員会》

【委員長】竹内秀明 【副委員長】西山一規

【委員】佐々木加代子、平家恭治、河野裕保、岩淵治樹、新宮康史

市議会の詳しい情報は、八幡浜市議会のホームページをご覧ください。

八幡浜市議会 検索